

# 廃止措置・放射性廃棄物 情報体系の整備に向けた取組について

第11回原子力委員会  
資料第1-4号

## ～連携プラットフォーム(仮称)の活動状況 ①～

### 連携プラットフォーム(仮称)参加メンバー

電気事業連合会 (電事連)

(国研)日本原子力研究開発機構 (JAEA)

原子力発電環境整備機構 (NUMO)

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

(一財)エネルギー総合工学研究所

(公財)原子力環境整備促進・資金管理センター

(公財)原子力安全研究協会

(公財)日本アイソトープ協会

## ～連携プラットフォーム(仮称)の活動状況 ②～

### 活動内容

これまでは、各機関(主に電事連、JAEA、NUMO)の情報体系の整備状況と、課題について確認を行った。

(会合開催実績)

第1回 平成29年11月16日(根拠情報整備の目的、体系例 等)

第2回 平成30年 2月16日(各機関の整備状況と課題 等)

### 今後の取組について

- 根拠情報の整備の必要性の再確認(コミュニケーション含む)
- 情報体系の整備に向けたアクションプラン検討(各機関)
- PDCAサイクルによる確認とフィードバック方法の検討
- 廃止措置・放射性廃棄物を進める上で連携すべき課題の検討 他

# 根拠情報の整備に係る関係機関の連携イメージ

## ○廃止措置

課題: 実施主体間等の情報の整合・区分け、共有、共用(リンク)

原子力規制委員会

廃止措置の安全規制  
IAEA廃棄物等合同条約  
廃止措置安全規制(概要、実施手順、安全確保考え方、安全審査)、②東海発電所、③浜岡1.2号、保安検査、関連内規

全体目次(案)

廃止措置の全体概要の解説

①概要(概要、規制、技術、費用)、②廃棄物(規制、廃棄物、管理)、③枠組み(政策、規制行政庁等、実施主体、研究機関、支援機関、事業者、制度)、④事業者、⑤報告書等、⑥諸外国、⑦福島第一廃炉

放射性廃棄物とのリンク

電事連

原子力発電事業関連廃止措置の全体概要の解説

①廃止措置(概要、基本方針、規制、手順、工程、状況、廃棄物)、②クリアランス(制度、安全性、実績、諸外国)

1階目  
3階目  
根拠情報

JAEA

研究施設等の廃止措置の全体概要の解説  
JAEA廃止措置の解説

①ふげん(概要、計画、基本方針、工程、廃棄物、作業状況(動画))、②廃止措置エンジニアリング技術

1階目  
3階目  
根拠情報

NDF

福島第一原子力発電所事故廃炉プロジェクトの解説

①検討方針、②安全確保の考え方、③固体廃棄物取組現状、④戦略的提案

1階目  
3階目  
根拠情報

中部電力

廃止措置の解説

同右

1階目  
3階目  
根拠情報

日本原電

廃止措置の解説

①廃止措置、廃棄物処理処分、②地域理解活動、③諸外国、④東海発電所詳細、⑤敦賀1号炉詳細

1階目  
3階目  
根拠情報

関西電力

廃止措置の解説

同左

1階目  
3階目  
根拠情報

廃止措置機関

研究機関、大学、民間、医療機関等

関連機関

東京電力福島第一廃炉推進カンパニー、IRID、JAEA

文書、論文、報告書、情報等

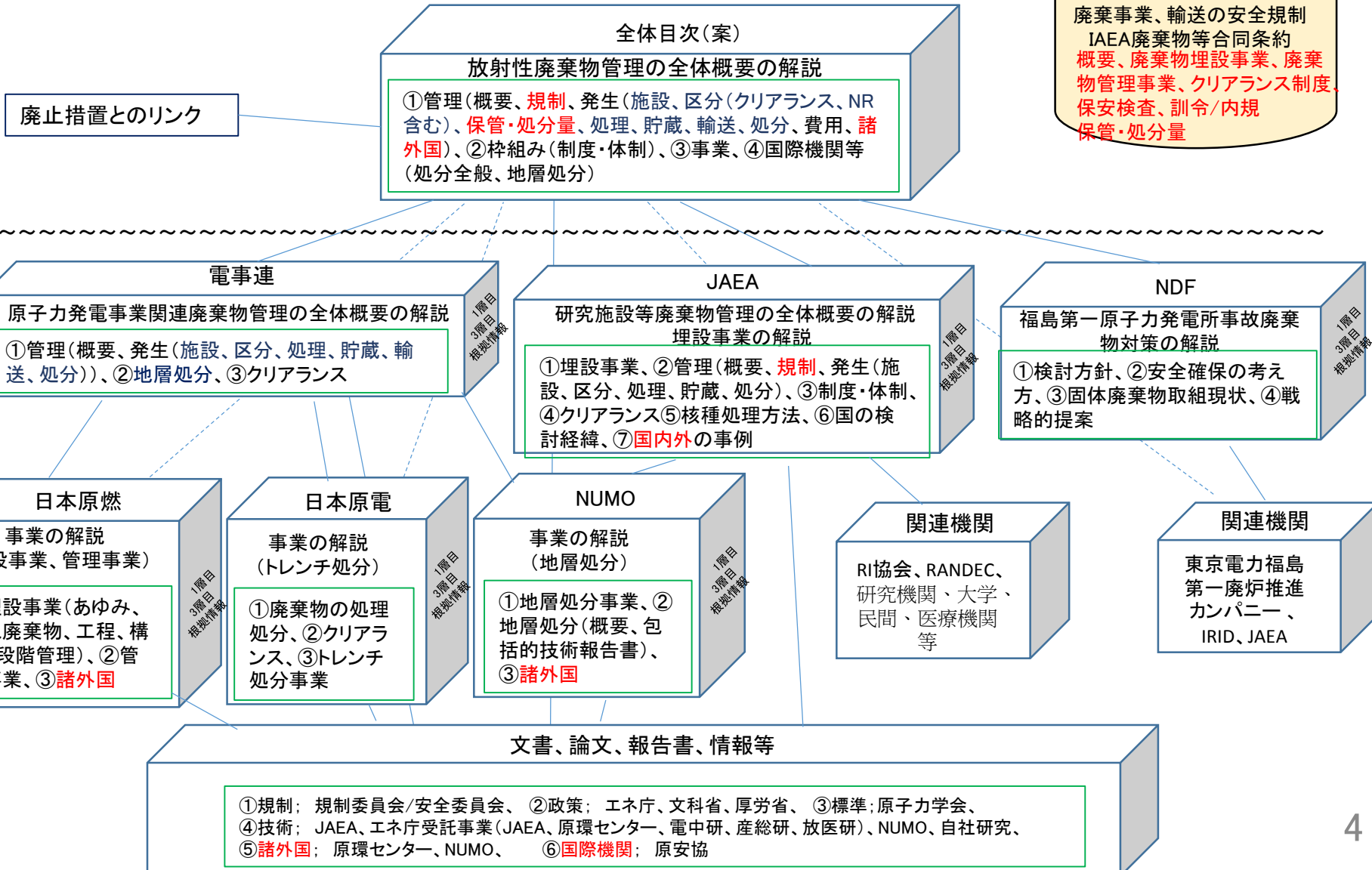
①規制: 規制委員会/安全委員会、②政策: エネ庁、文科省、厚労省、③標準: 原子力学会  
④技術: JAEA、  
⑤諸外国: 、⑥国際機関: エネ総工研、RANDEC

## ○放射性廃棄物

課題: 実施主体間等の情報の整合・区分け、共有、共用(リンク)

原子力規制委員会

廃棄事業、輸送の安全規制  
IAEA廃棄物等合同条約  
概要、廃棄物埋設事業、廃棄物管理事業、クリアランス制度、保安検査、訓令/内規  
保管・処分量



# 各機関における主な課題 ①

## 電事連

(廃止措置)

- 第3階層、第4階層に係る電事連の関与の在り方の整理
- 原子力施設としては、発電炉(LWR)のみならず、再処理(TRP)、その他も対象にする。
- 我国の取り組みが、今後本格化する段階であり、情報体系のそのものの整備が急務。相当量の実務が発生するので、各機関が現状進めている情報整備計画を踏まえ、既存資料を最大限活用した効率的な作業を期待。
- 先行する諸外国の良好事例や教訓、現状課題などを、最大限取り込む編集方針を望みたい。

(放射性廃棄物)

- 原子力発電関連廃棄物の処理処分に関する包括的解説(第3階層)
- 低レベル放射性廃棄物は高レベルと比較し、種類や発生元が多様であり、項目立てや記載程度など、十分検討したい。

## 各機関における主な課題 ②

### JAEA

(廃止措置、放射性廃棄物 共通)

- 機構の中で情報が体系化できていないこと
  - ・拠点ごとにバラバラのホームページ形式(様式)
  - ・第1階層情報のみ公表している。
  - ・第1階層から第1階層へ移動する(階層構造になっていない)
  - ・第1階層の中でも一般向けから専門家向けレベルまで情報が混在
- 第2階層に分類できる情報がないこと
- 第3層、第4階層の情報が不足しているまたはないこと
  - ・報告書のリンク先アドレスを表示しているだけで不親切
  - ・研修資料(内部)を公表する際に著作権に留意が必要

## 各機関における主な課題 ③

### NUMO

#### 【情報を辿れるリンクの整備】

- 「よくある質問」から、より詳しい説明をしている第2階層のページや他機関の解説ページ等へのリンクが現状では未整備。
- 一般の方が知りたい情報と、技術根拠となる報告書や論文のマッチングができていない（Traceabilityが低い）。
- 関連機関HPへのリンクはTOP画面であり、一般の方が知りたい情報にたどりつくのは容易ではない。

#### 【内容・構成の充実】

- HPのTOP画面から技術情報を探しにくい。
- 第2階層に該当する解説文書や情報をより拡充する必要あり。
- 関係機関の技術成果の論文リストは整備されているが、当該資料の概要の記載がなく内容が、わかりづらい。なおNUMO HP上での論文PDF閲覧は、所有者の使用許諾が必要であり制約がある。
- 関係機関の論文リストの情報更新がタイムリーに行われていない（NUMO外の情報を定期的に把握して更新していくことは極めて手間を要する）。

#### 【今後の予定】

- 包括的技術報告書の導入的な解説文書（第2階層）、包括的技術報告書（第3階層）を掲載予定。この際、報告書の導入編・本編・付属書・参考文献の各PDFは、ハイパーリンク機能を駆使して相互にアクセス可能な形式で公開する予定。
- Q&Aに関連する詳細情報を充実させ、階層的に辿れる構成とする。
- ユーザーの視点にたって、HPのTOP画面から詳細情報に入りやすくなるようにデザイン等を工夫する。